


シリーズで学ぶ！中堅職員のための基礎知識

講師：山内 哲也
(社会福祉法人武蔵野会 リアン文京 総合施設長)

Step 1

「中堅職員の期待と役割」



1

講義のポイント

今回の講義のポイントは…

- ① 中堅職員のジレンマ
- ② 中堅職員の源泉力
- ③ セルフマネジメント
- ④ 期待される5つの役割

…となっています。

2

中堅職員のジレンマ

やりがいと成長

- メインプレイヤーとして、その役割と責任を自覚し、これまでに身につけた知識や経験・スキルを活用してチームに貢献する
- チームの中心となることで、支援者として更なる成長を目指す

VS

仕事の壁とモチベーションの低下

- 業務経験を積むなかで日々のルーティンワークにマンネリ
- 将来に対するキャリアプランが想像できず不安
- 今の仕事で得られる経験・スキルの頭打ち感
- 広がる役割期待と仕事の範囲と意識のギャップ

3

自分自身の源泉

- 何故この仕事を選択したのか（抱いていた想い・抱負）
- どんな場面に仕事の楽しさや幸せ、充実感を感じるのか
- どのような支援者になりたかったのか
- 大切にしている価値は何か（理念の再確認）

4

仕事の棚卸し

仕事の本質

- 仕事の意義は何か（自分の仕事は何のためにしているのか）
- 自分の役割は何か（組織全体を俯瞰する）
- 自分が果たすべき責任は何か

専門職・組織人としての課題

- 積み残してきた課題を多面的にピックアップ
- 仕事の基本にはらつきがないか 習慣化されているか
- 専門性や業務遂行の基本となる力が定着しているか

5

中堅職員の棚卸し

求められるのは自律協働型の人材＝エンプロイアビリティ

3つの力	概要	各要素	各要素の意味
前に踏み出す力	指示待ちにならず、一人称で物事を捉え、自ら行動できるようになることが求められている	主体性	物事に進んで取り組む力
		働きかけ力	他人に働きかけ巻き込む力
考え抜く力	論理的に答えを出すこと以上に、自ら課題提起し、解決のためのシナリオを描く、自律的な思考力が求められている。	実行力	目的を設定し確実に行動する力
		課題発見力	現状を分析し目的や課題を明らかにする力
		計画力	課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力
チームで働く力	グループ内の協調性だけに留まらず、多様な人々との繋がりや協働を生み出す力が求められている。	創造力	新しい価値を生み出す力
		発信力	自分の意見をわかりやすく伝える力
		傾聴力	相手の意見を丁寧に聞く力
		柔軟性	意見の違いや立場の違いを理解する力
		状況把握力	自分の周囲の人々や物事との関係性を理解する力
規律性	社会のルールや人との約束を守る力		
ストレスコントロール力	ストレスの発生源に対応する力		

6

セルフマネジメント

仕事力の基盤となるセルフマネジメントを身につけよう

- 目標管理
- モチベーション管理
- タスク管理
- タイムマネジメント
- 思考と行動のセルフマネジメント
- 感情のコントロール アンガーマネジメント
- メンタルケア

7

マインドセット

仕事と人生の心構えの考え方をマインドセットする

- 自分の大きな可能性を信じる
- 自己信頼を高める
- 自分の良さを認める
- やってみる
- 継続する

4人のサポーター 社会的支援（助力・情報・助言・親密）

8

中堅職員に期待される5つの役割 その1

中軸メンバー

1. プロフェッショナル意識（ロールモデルの理解と実践）
2. コンプライアンス意識（コンプライアンスを貫く勇氣）
3. 自業務の改善
4. 仕事の習慣化と的確な状況対応力

9

中堅職員に期待される5つの役割 その2

専門性の発揮

1. 人権意識 倫理基準
2. 専門知識・スキル（支援展開の実践、モデル・理論の援用）
3. 問題解決力の向上
4. 自己研鑽・自己啓発

10

中堅職員に期待される5つの役割 その3

新人・後輩の育成

1. 新人・後輩への育成
 - 共育サイクル
 - 後輩は足手まといかサポート対象か
2. 源泉力を発揮する

11

中堅職員に期待される5つの役割 その4

上司の補佐

1. フォロワーシップ
2. シェアド・リーダーシップ（主体性の発揮）
3. フォロワー・リーダー・プレイヤーの統合

12

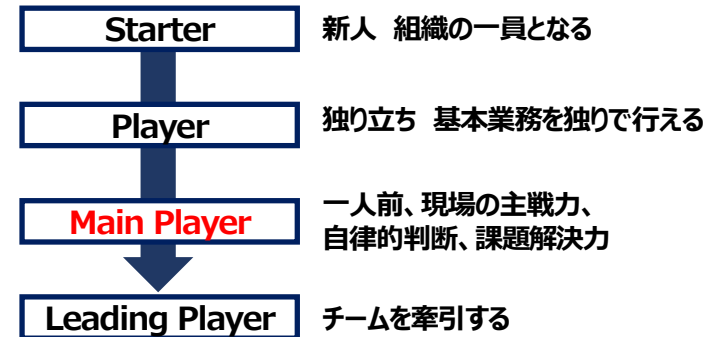
中堅職員に期待される5つの役割 その5

巻き込む力

1. コミュニケーション力
2. 会議運営の参加
3. チームワークと組織活性化（風通しの良い組織づくり）

13

メインプレイヤーから リーディングプレイヤーへ



14

本日のまとめ

- 源泉力を発揮し、メインプレイヤーとして
- その役割と責任を自覚し、これまでに身につけた知識や経験・スキルを活用してチームに貢献する存在
- チームの中心となることで支援者として更なる成長を目指そう

15